

国語（中）部会だより

# 一語一会

部会情報NO. 1

2020年 8月 24日（月）

発行 事務局 題字 原田秀基氏

文責 本間 幹英（江別第二中）

■国語科の先生へ配布回覧下さい

**「今年度もどうぞよろしくお願い致します。」**

石教研国語（中）部会 事務局

本間 幹英（江別第二中）

晩夏の候、部会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でお過ごしのことと思っております。また、日頃より石教研の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度はご存知の通り新型コロナウイルス感染症のために、各学校におかれましても、様々な行事等が中止・変更等の対応をなされているかと存じます。石教研の活動につきましても、第二次研究協議会の中止の決定となってしまいました。しかし、我々の研究を絶やしてはならないという考えのもと、教育研修センターから、今年度は前期【当初、第二次研究協議会を予定していた10月16日（金）】と後期【10月16日以降】とに分けて、専門部会ごとに研究を進めてほしいとの要請を受けている所です。

国語部会としましても、事務局の研修会や役員会（推進委員を含めた事務局の研修会）も開催できない状況ではありますが、以下のように研修を進めていきたいと考えている所です。

つきましては、下記をご参照の上、取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

なお、特に、各市町村の推進委員の皆様には、多大なるご負担をおかけすることになるかと思っておりますが、趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

今年度の国語（中）部会の取組は、前期に実践レポートの交流、後期に理論研修会の実施を行うことに致しました。

前期の取組：実践レポートの交流

①各部会員が作成するレポートについて

○一人1レポートの提出

〈様式〉 A4サイズ・縦書き・横書き 両面印刷で120部

〈内容〉

- ・個人レポートについては「教科書教材（学年ごと）についての実践研究」を原則とするが、部会員の研究に資するものであれば「教科書教材以外についての実践研究」

の内容も可とする。また過去の他者レポートの追実践でも構わない。その場合、基にしたレポートを明記する。さらに今年度は、「新型コロナの影響下における、感染症対策を講じた形での授業」について『コロナ禍の中で、普段どのように授業を行っているか』についての実践レポートも可とする形で進める。

・レポートは「単元を通して生徒に身につけさせたい力」「単元の指導計画（略案）」「実践の振り返り」の3つをまとめる。

〈提出〉 各市町村の開催日までに（または、当日に）推進委員へ提出する。

（提出方法は、各市町村によって異なる場合があります。推進委員へご確認ください。）

## ②協議（交流）の期日・内容等について

- ・10月16日（金）までの前期期間で、各市町村単位で集まる日を設定し、学校等で感染症対策を講じた上での交流を行ってください。
- ・平日の実施になりますので、集まれた場合でも、勤務時間を考えると、例えば【15:00～16:30】や【15:30～16:30】など、1時間～1時間半程度が限度と考えております。
- もし「30分程度の時間しか確保できない」「予定が合わずに集まらない」などの場合は、事前に各資料を閲覧してもらい形をとり、まとめ（感想）等もメール等で推進委員が集めて交流とする…。という形でも可能です。
- ・実施日（予定日）は、9月中、できれば9月第1週～第3週【9月1日（火）～9月18日（金）】あたりでお願いします。
- ・実施後は、9月末日までに推進委員が事務局（江別二中 本間）まで提出をお願いします。
- ・レポートは紙かデータ、どちらでも可です。
- ・事務局で帳合い（印刷）等を行い、再度、各市町村へ実践資料集として配付する予定です。

後期の取組：理論研修会の実施

### ①期日・場所等

11月20日（金）13:00～15:00 研修センター（予定）

### ②講師・内容等

講師：梅村武仁氏

【北海道教育大学教職大学院 特任教授】

内容：「主体的な学びを深める国語授業の在り方（仮）」

短期間でのレポートの作成等、部会員の皆様にはお手数をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。